



OPTEX

2025年12月期 上期 決算説明資料

オプテックスグループ株式会社

証券コード6914

2025年8月8日

<免責事項>

本資料に記載しております、オプテックスグループ株式会社の業績、戦略、事業計画等の将来予測を示す記述については、発表時点で入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が記述されている将来予測とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

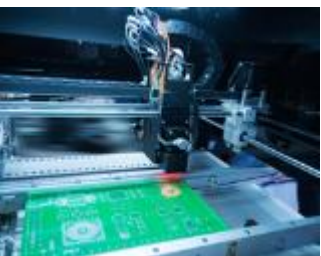
【ご参考】 当社の事業セグメント概要

SS (センシングソリューション) 事業



- **防犯関連** : 住宅、事業所、大型重要施設向けの侵入検知センサーを提供
- **自動ドア関連** : 自動ドア用センサー、工場や倉庫のシャッター用センサーを提供
- **社会・環境関連** : 駐車場向けの車両検知センサーや工場向けの水質計測センサーを提供

IA (インダストリアルオートメーション) 事業



- **FA関連** : 工場の生産工程で自動化・省人化に役立つセンサーを提供
- **検査用照明関連 (旧MVL関連)** : 工場の検査工程で検査の品質向上に役立つ照明を提供
- **産業用PC関連 (旧IPC関連)** : 半導体製造装置向けの組込ボードや空港向けの追尾カメラを提供
- **自動化装置関連 (旧MECT関連)** : 自動車向けの二次電池製造装置を提供

EMS (電子機器受託生産サービス) 事業 : グループ製品の製造・電子機器の受託生産

1. 2025年12月期 上期決算概要

2. 2025年12月期 業績予想

決算発表のポイント

SS事業 : Sensing Solution (センシングソリューション) 事業
IA事業 : Industrial Automation (インダストリアルオートメーション) 事業

2025年12月期 上期 実績

売上高

- ・ 前年同期比-0.6%の減収。
- ・ IA事業/自動化装置（車載電池向け装置）の販売が大幅減少および為替影響が主因。

営業利益

- ・ 前年同期比+16.2%の増益。
- ・ SS事業の高付加価値製品の売上が大幅に増加し、相対的に原価率が高いIA事業/自動化装置の売上構成比が低下したことにより、全体として原価率が大きく改善したことが主因。

2025年12月期 通期 業績予想

- ・ 通期業績予想に変更なし。
- ・ 米国の関税政策により、SS事業の防犯・自動ドア・車両検知センサーやIA事業の検査用照明への影響が懸念されるが、売価のコントロールやサプライチェーン最適化により業績への影響を抑えていく。
- ・ 株主還元方針と足元の業績動向を踏まえ、中間および期末配当の増配を予定。

2025年12月期 上期連結決算 総括

(単位:百万円)		2024/12期 上期（1-6月）実績	2025/12期 上期（1-6月）実績	対前年同期 増減額	対前年同期 増減率
売上高		30,519	30,346	-173	-0.6%
営業利益 (営業利益率)		3,139 (10.3%)	3,647 (12.0%)	+508	+16.2%
経常利益		3,619	3,192	-427	-11.8%
親会社株主に帰属する 中間純利益		2,528	2,998	+470	+18.6%
1株当たり 中間純利益（円）		71.10	84.18		
為替レート （円）	1USD	152.25	148.60		
	1EUR	164.60	162.15		

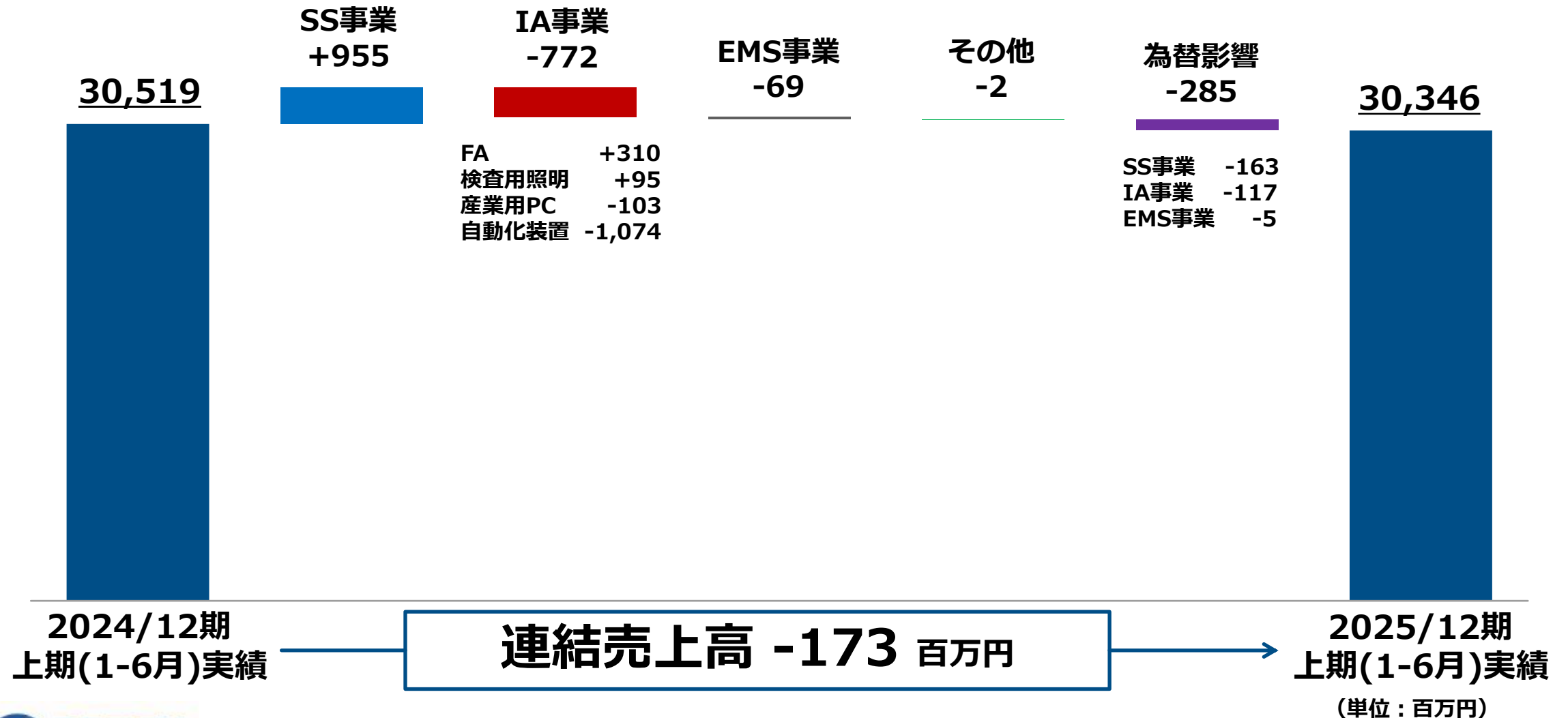
2025年12月期 上期連結決算 セグメント別 売上高・営業利益

(単位:百万円)	売上高			営業利益 (営業利益率)		
	2024/12期 上期(1-6月)実績	2025/12期 上期(1-6月)実績	対前年同期 増減率	2024/12期 上期(1-6月)実績	2025/12期 上期(1-6月)実績	対前年同期 増減率
SS事業 (センシング ソリューション)	14,064	14,856	+5.6%	2,039 (14.5%)	2,647 (17.8%)	+29.8%
IA事業 (インダストリアル オートメーション)	15,920	15,032	-5.6%	1,435 (9.0%)	1,314 (8.7%)	-8.4%
EMS事業	485	410	-15.3%	-276	-190	—

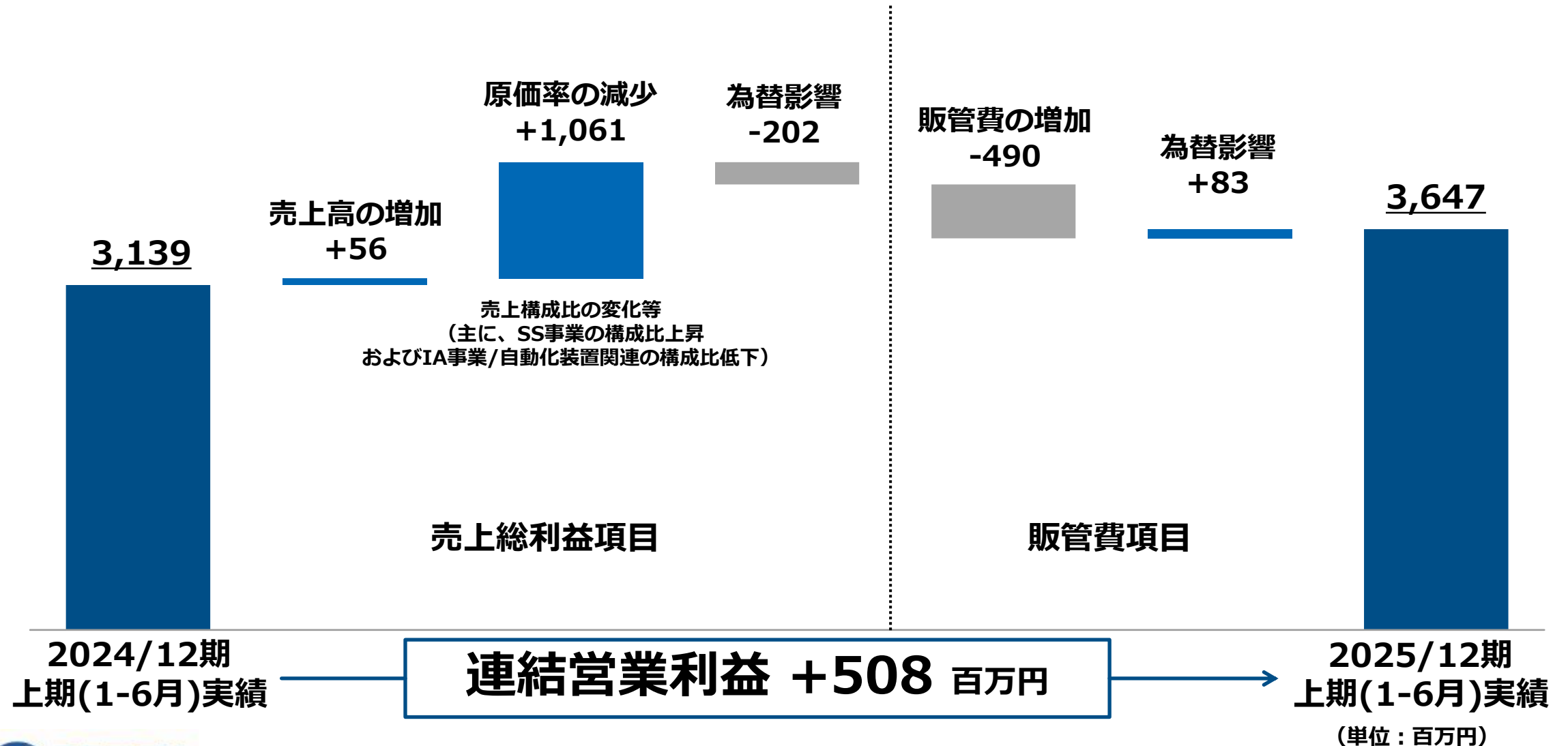
※セグメント別の売上高は、セグメント間取引の売上高を消去した数値を表示しています。

※セグメント別の営業利益は、セグメント間取引の営業利益を含む数値を表示しています。

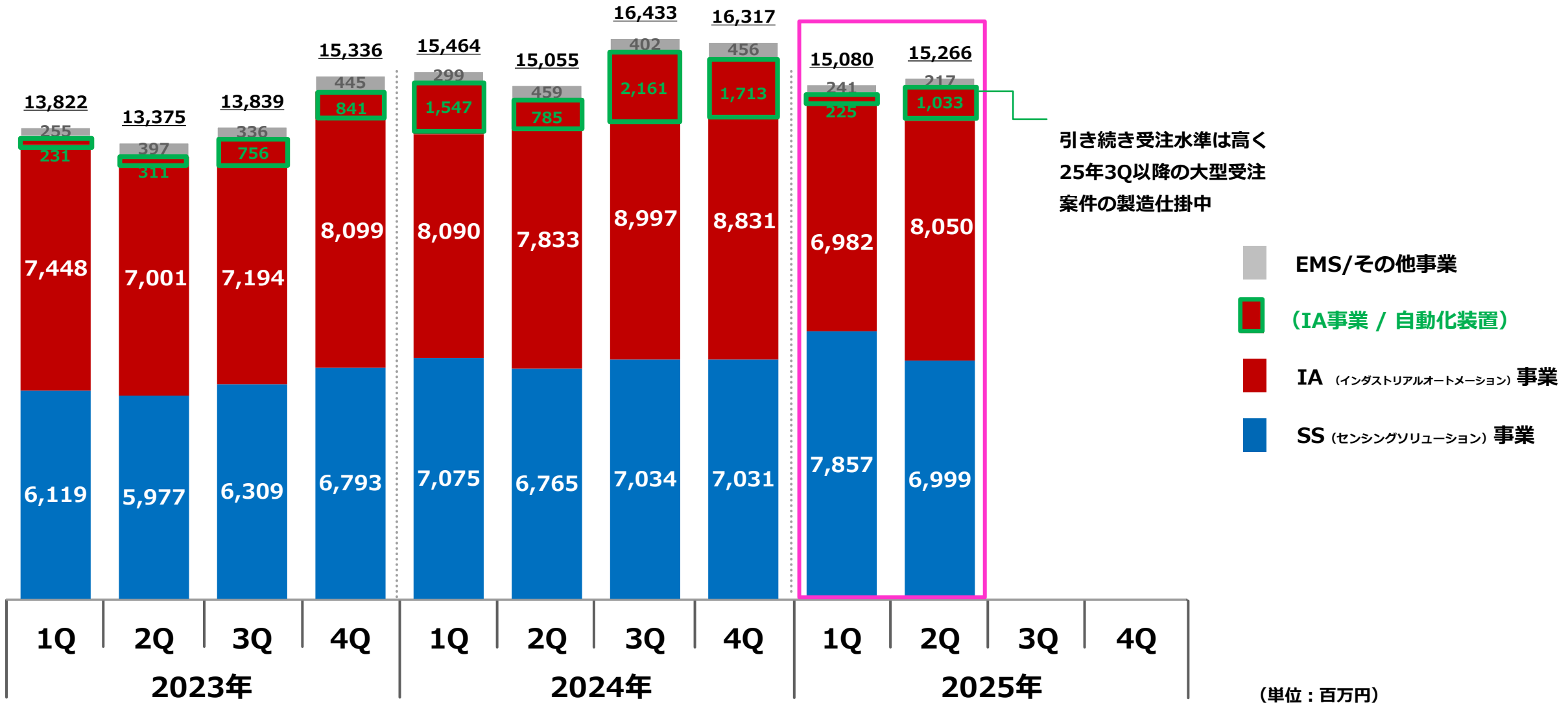
2025年12月期 上期連結売上高 増減要因（前年同期比）



2025年12月期 上期連結営業利益 増減要因（前年同期比）



連結売上高 四半期推移 (2023-2025年)



SS事業 — 防犯関連



地域	2025/12期 上期（1-6月）業績のポイント
日本	・ インフラ関連施設などの大型重要施設向けのソリューション販売が好調に推移
米州	・ データセンター向けにレーザースキャンセンサーの販売が好調
欧州	・ 1Qは店舗や住宅向けで値上げ前の駆け込み需要増、2Qは反動減
アジア	・ データセンター、空港などの大型重要施設向けの案件獲得が堅調



データセンターでの侵入検知例

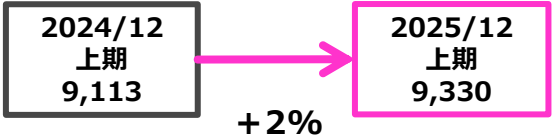
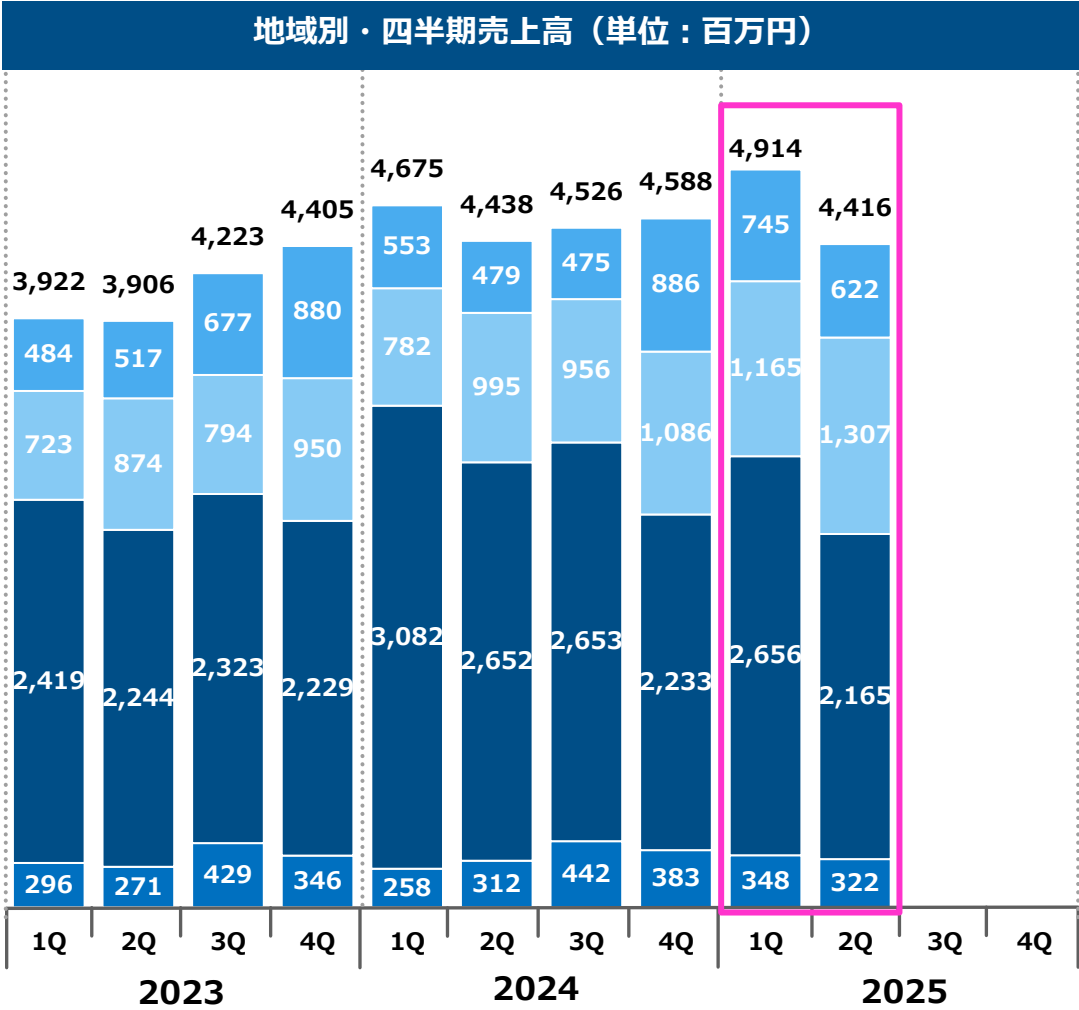


屋内用



屋外用

大型重要施設向け
レーザースキャンセンサー

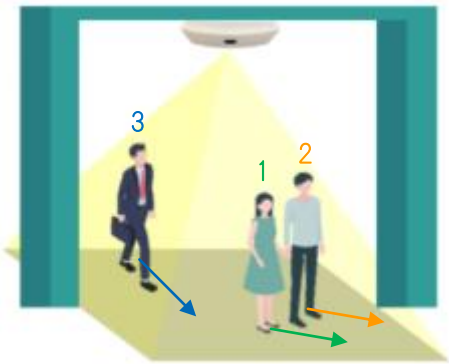


SS事業 ― 自動ドア関連

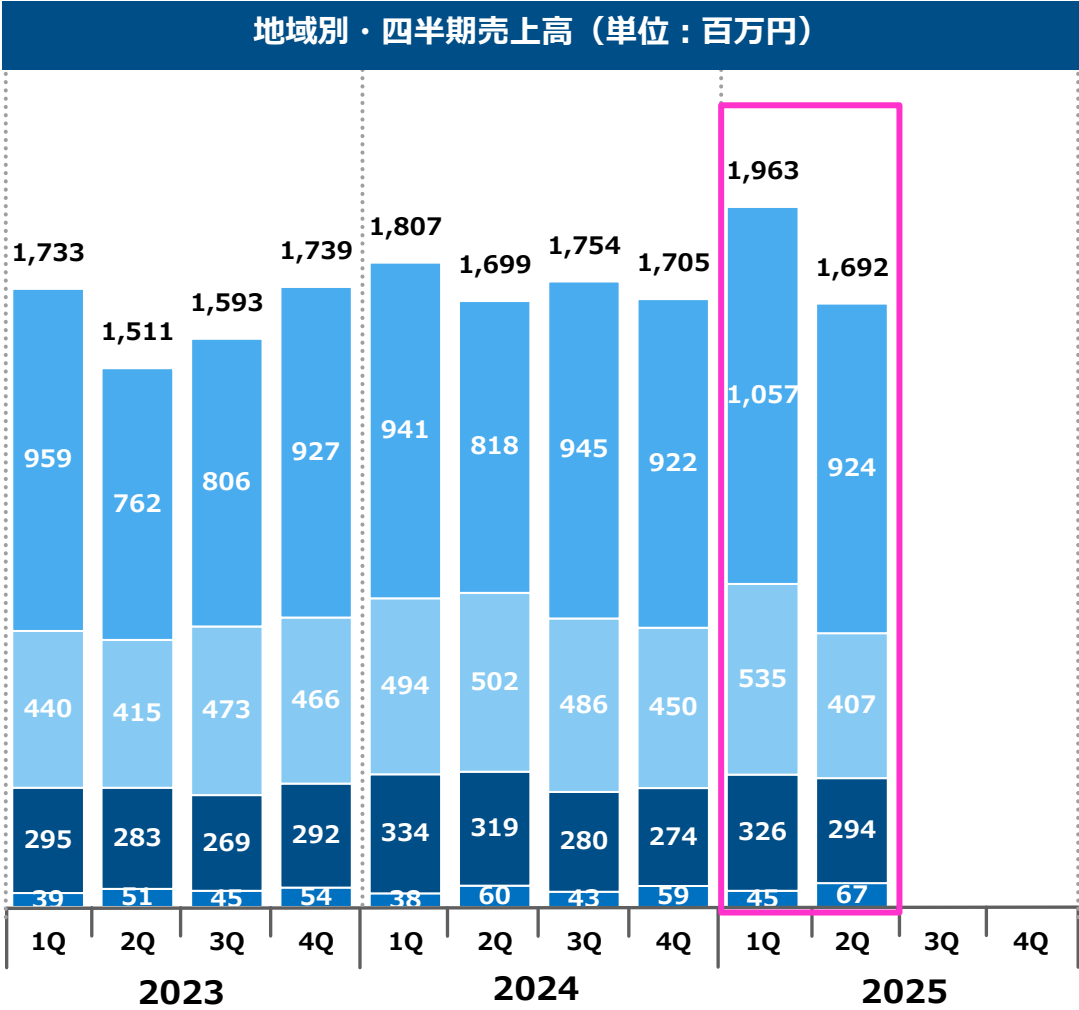
地域	2025/12期 上期（1-6月）業績のポイント
日本	・ 商業施設向けに客数情報システムの販売が順調 ・ 自動ドア用センサーの販売が堅調
米州	・ 1Qは自動ドア・シャッター用センサーの値上げ前の駆け込み需要増、2Qは反動減
欧州	・ 自動ドアメーカー向けの販売が伸び悩み



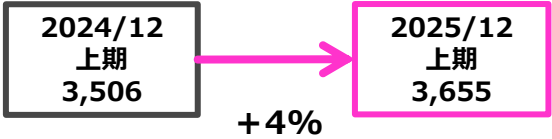
自動ドアセンサー



客数情報システム



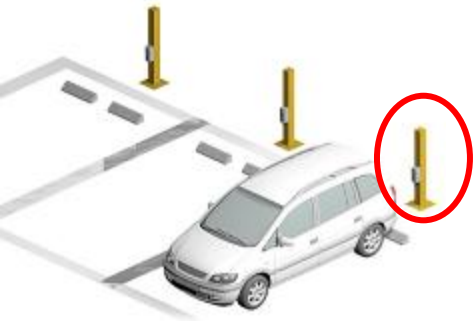
■ 日本
■ 米州
■ 欧州
■ アジア



SS事業 — 社会・環境関連



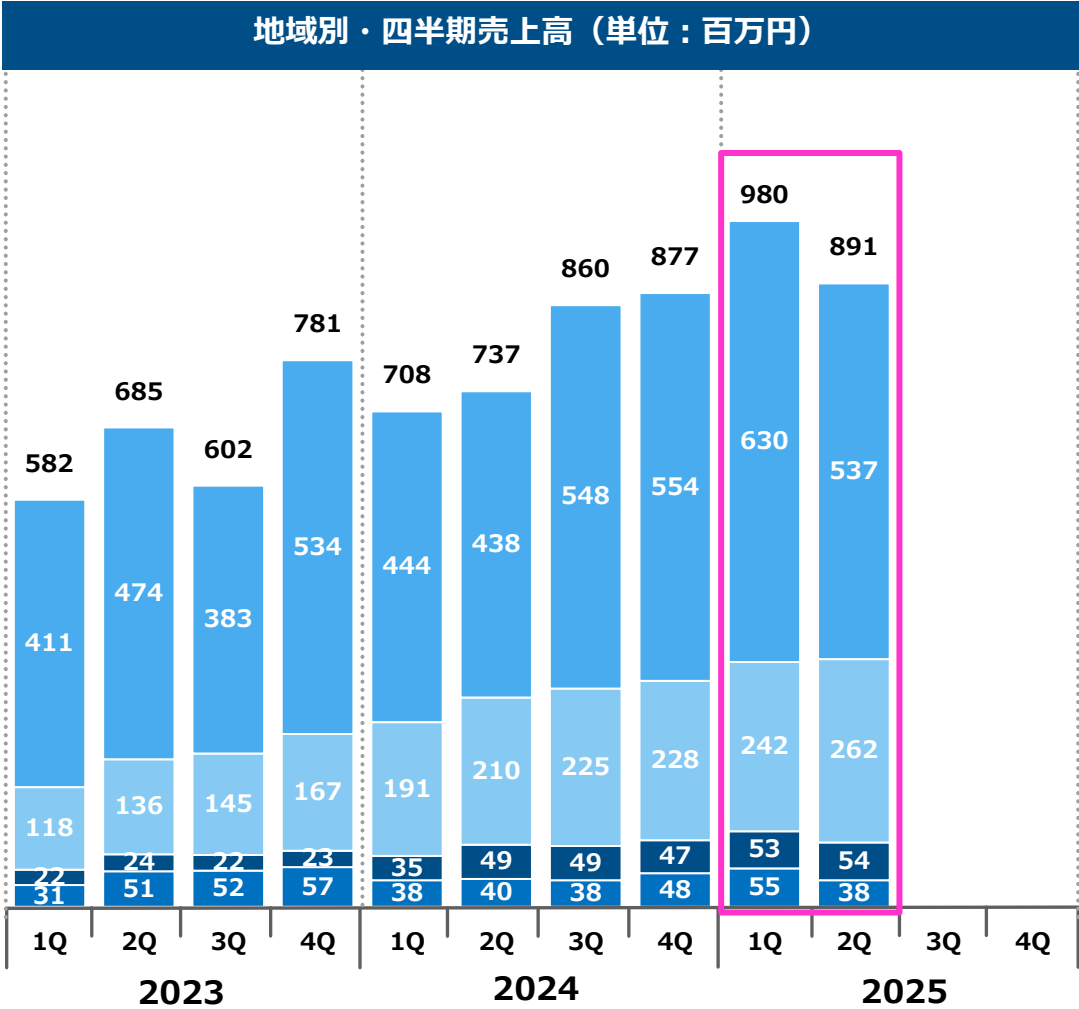
地域	2025/12期 上期（1-6月）業績のポイント
日本	・ 駐車場システム向け車両検知センサー、ソリューション販売が好調 ・ 水質センサー、データマネジメントサービスの販売が好調
米州	・ 駐車場のゲート開閉用途で車両検知センサーの販売が好調に推移



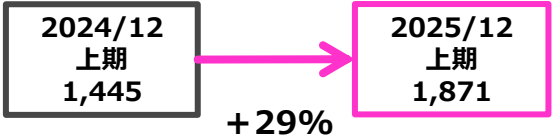
車両検知センサー



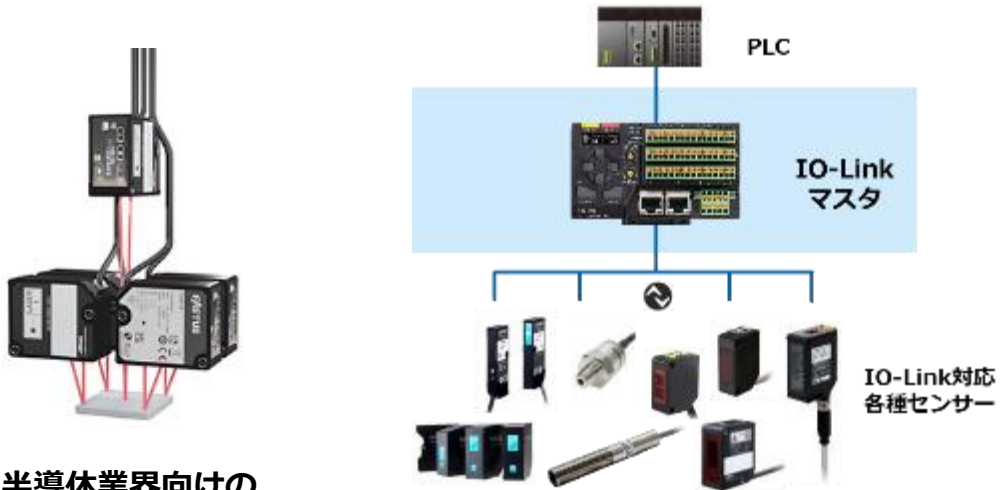
水質計測データマネジメントサービス



■ 日本
■ 米州
■ 欧州
■ アジア

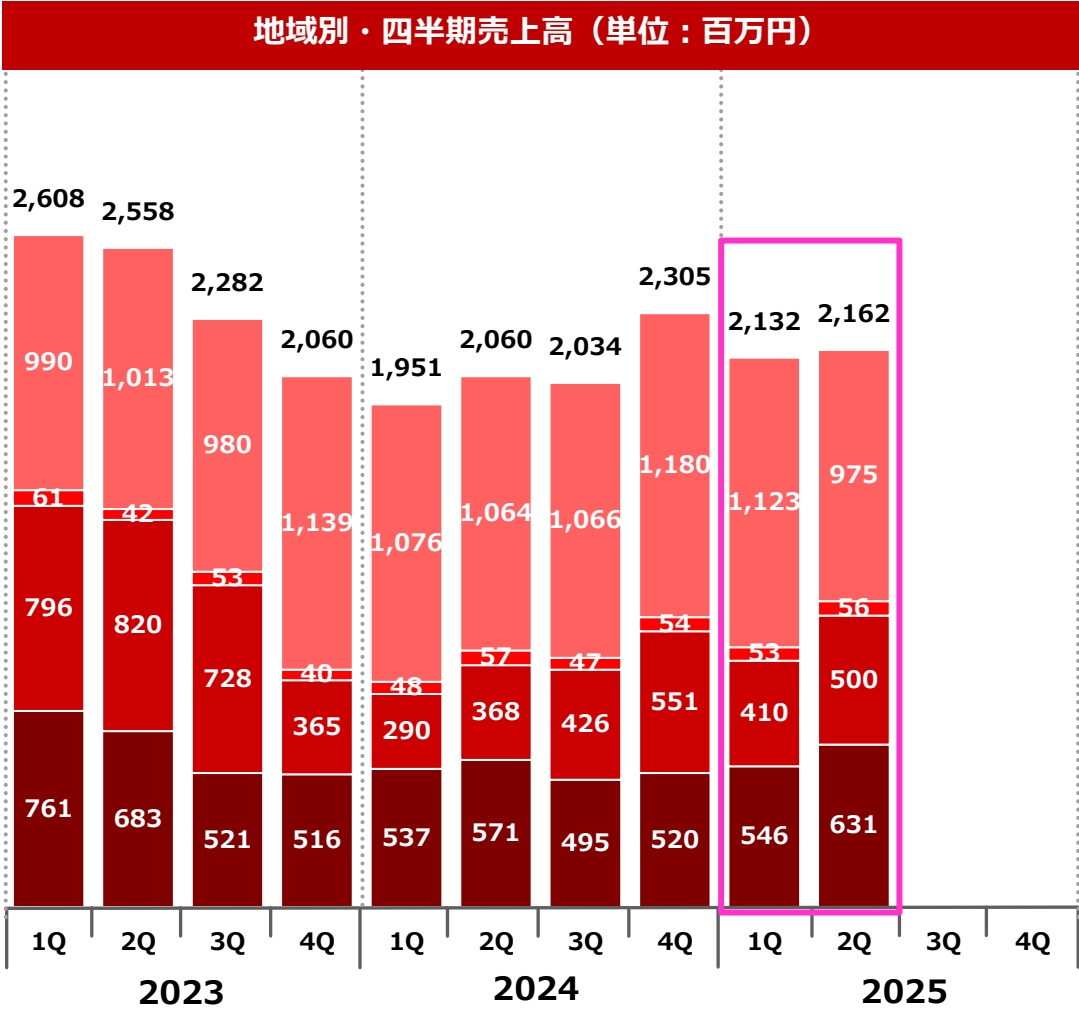


地域	2025/12期 上期（1-6月）業績のポイント
日本	・ 米国関税政策の影響により、半導体、電子部品向けの販売が軟調に推移
欧州	・ 主要顧客の在庫調整は一巡し、同社による北米向けの販売は堅調、中国向けは緩やかに回復
アジア	・ 中国の設備投資需要が回復の兆しを見せ、電池、電子部品向けを中心に販売堅調

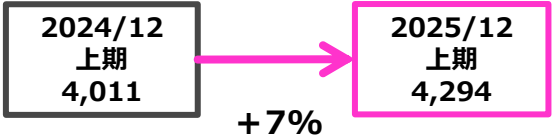


半導体業界向けの
変位センサー使用例

IO-Linkで各種センサーの
状態・情報を見る化



日本
米州
欧州
アジア



IA事業 — 検査用照明関連（旧MVL関連）



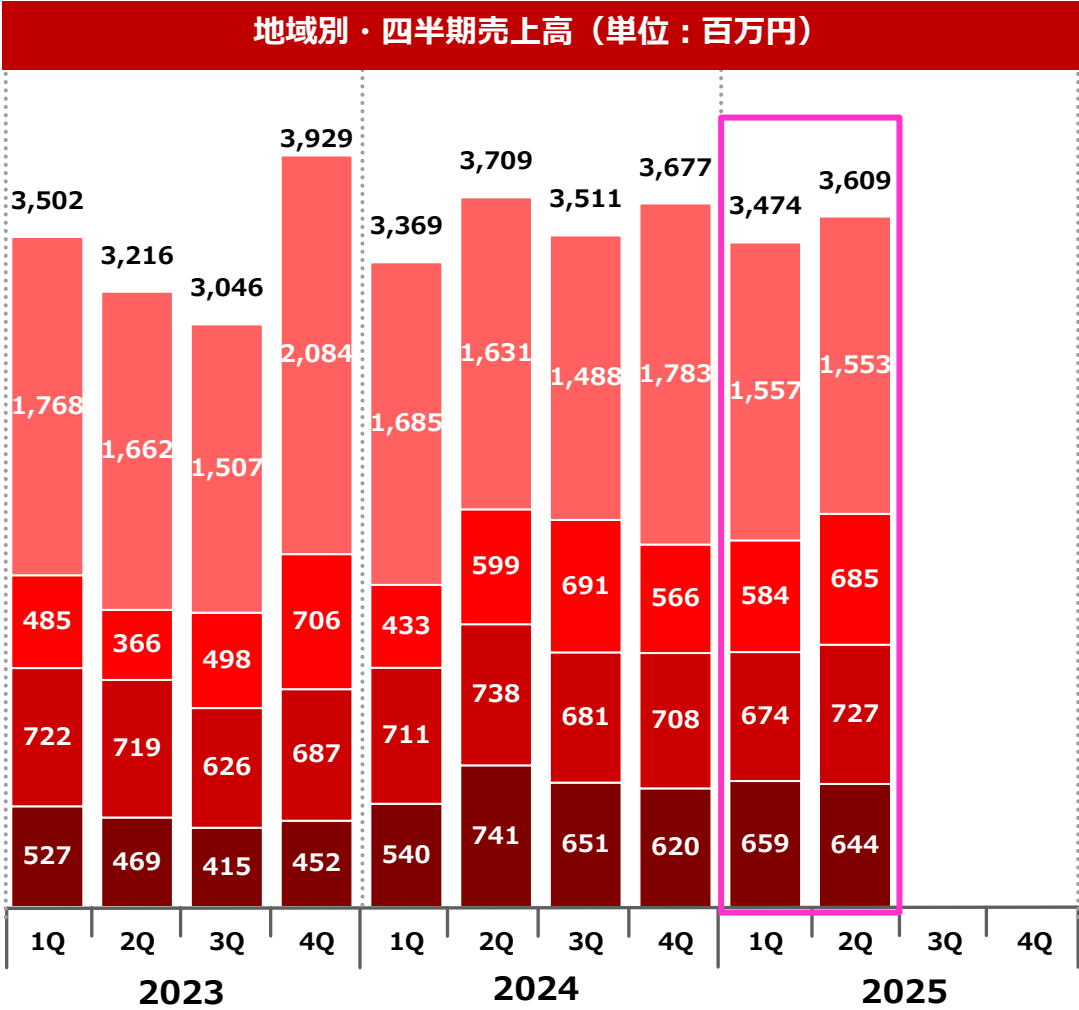
地域	2025/12期 上期（1-6月）業績のポイント
日本	・ 米国の関税政策の影響により、半導体、電気・電子部品向けの販売が軟調に推移
米州	・ 物流業界向けにフランス子会社製品の販売が好調に推移
欧州	・ 物流業界向けにフランス子会社製品の販売が堅調に推移 ・ 欧州の体制再構築でシェア拡大を目指す
アジア	・ 東南アジアで半導体関連向けの販売が堅調



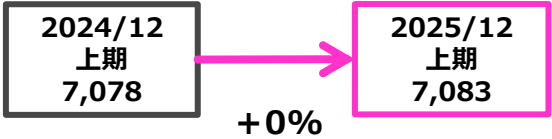
電子部品の外観検査ソリューション



物流業界向け使用イメージ

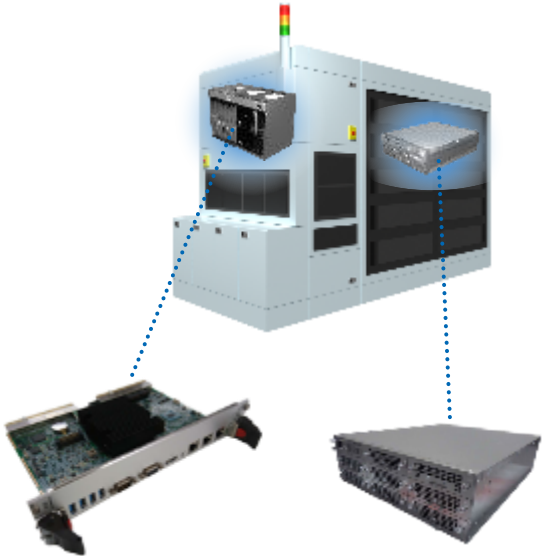


日本
米州
欧州
アジア



IA事業 — 産業用PC関連（旧IPC関連）

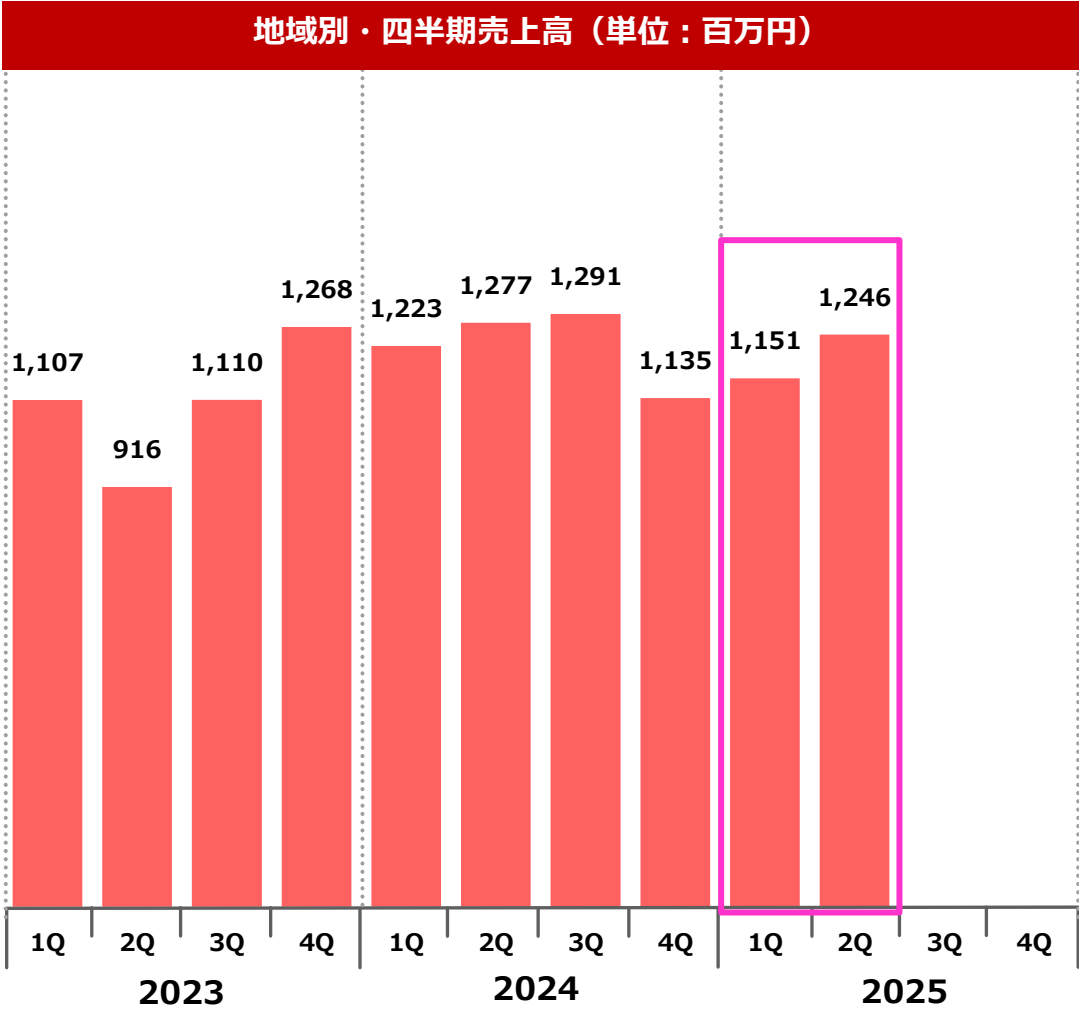
地域	2025/12期 上期（1-6月）業績のポイント
日本	・ 半導体製造装置向けの販売が低調に推移



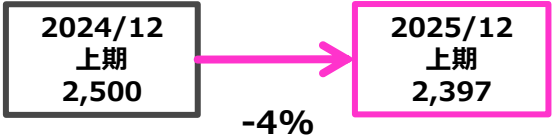
半導体製造装置の産業用コンピュータ



追尾用カメラ



■ 日本



IA事業 — 自動化装置関連（旧MECT関連）



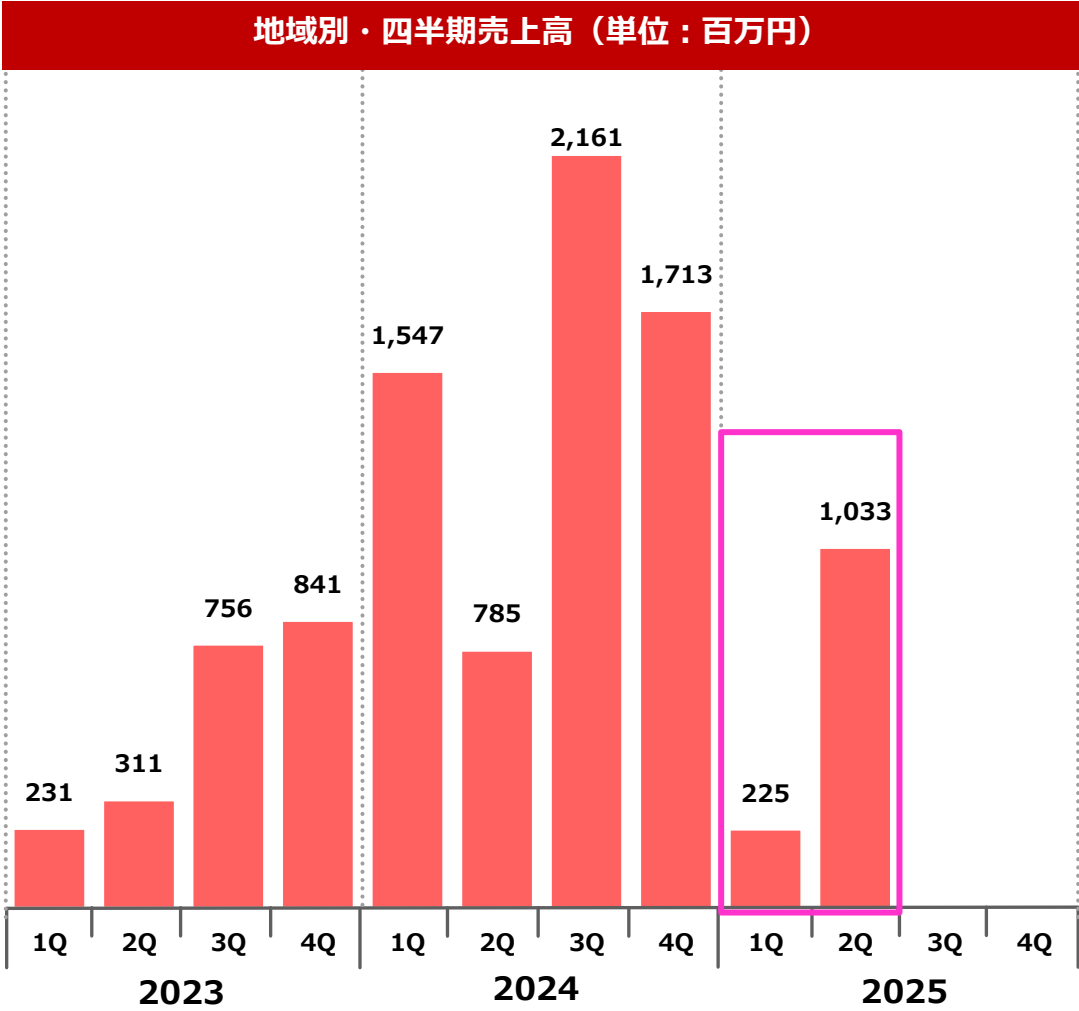
地域	2025/12期 上期（1-6月）業績のポイント
日本	・ 3Q以降の二次電池製造装置の案件納品に向けて生産中



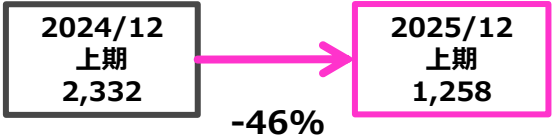
電気自動車・ハイブリッド車向け
二次電池製造装置



非接触 三次元形状測定機



■ 日本



1. 2025年12月期 上期決算概要

2. 2025年12月期 業績予想

2025年12月期 今後の見通し

SS事業：センシングソリューション事業
IA事業：インダストリアルオートメーション事業

SS 事業	防犯	国内外で、データセンター、インフラ関連向けの設備投資需要が堅調に推移。主力の欧米市場では、大型重要施設向けソリューション案件を着実に取り込み、成長を見込む
	自動ドア	欧州は新拠点による顧客連携が進展するも、米国の関税政策の影響もあり全体として景況感は弱含み。国内市場は遠隔管理ニーズに対応した製品・システム拡充で堅調継続
	社会・環境	駐車場管理システム向け車両検知センサー・ソリューション販売が順調に拡大し、国内外で好調継続を見込む。
IA 事業	FA ファクトリーオートメーション	国内は半導体・電子部品業界の設備投資案件を取り込み下期以降の回復を見込む。 欧州は高性能センサー、中国は電池や電子部品の設備投資案件を着実に取り込み堅調継続
	検査用照明 (IBMVL)	自動車業界は相互関税による市場の混乱とEVの減速で低調。一方で、半導体業界は先端分野が好調維持。プライベートショー等により国内外でソリューション展開を加速し事業拡大へ
	産業用PC (IBIPC)	SS事業（防犯関連）との共同開発製品および大型受託開発製品による販売増加を見込む。 半導体製造装置向けは、在庫過剰により受注が減少しており、回復は来期以降の見込み
	自動化装置 (IBMECT)	EV向け二次電池製造装置納入の売上継続を見込む

2025年度 通期連結業績予想

通期業績予想は、前回2月14日に公表した数値から変更なし。

米国の関税政策により、SS事業の防犯・自動ドア・車両検知用センサーやIA事業の検査用照明への影響が懸念されるが、売価のコントロールやサプライチェーン最適化により業績への影響を抑えていく。

(単位：百万円)	2024年度 通期実績	2025年度 通期予想	対前年度 増減率
売上高	63,269	66,000	+4.3%
営業利益 (営業利益率)	7,121 (11.3%)	7,400 (11.2%)	+3.9%
経常利益	7,749	7,400	-4.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,689	5,900	+3.7%
1株当たり当期純利益 (円)	159.86	165.65	

■ 為替レート

	2024年度 (実績)	2025年度 (想定)
1USD	151.58円	145.00円
1EUR	163.95円	155.00円

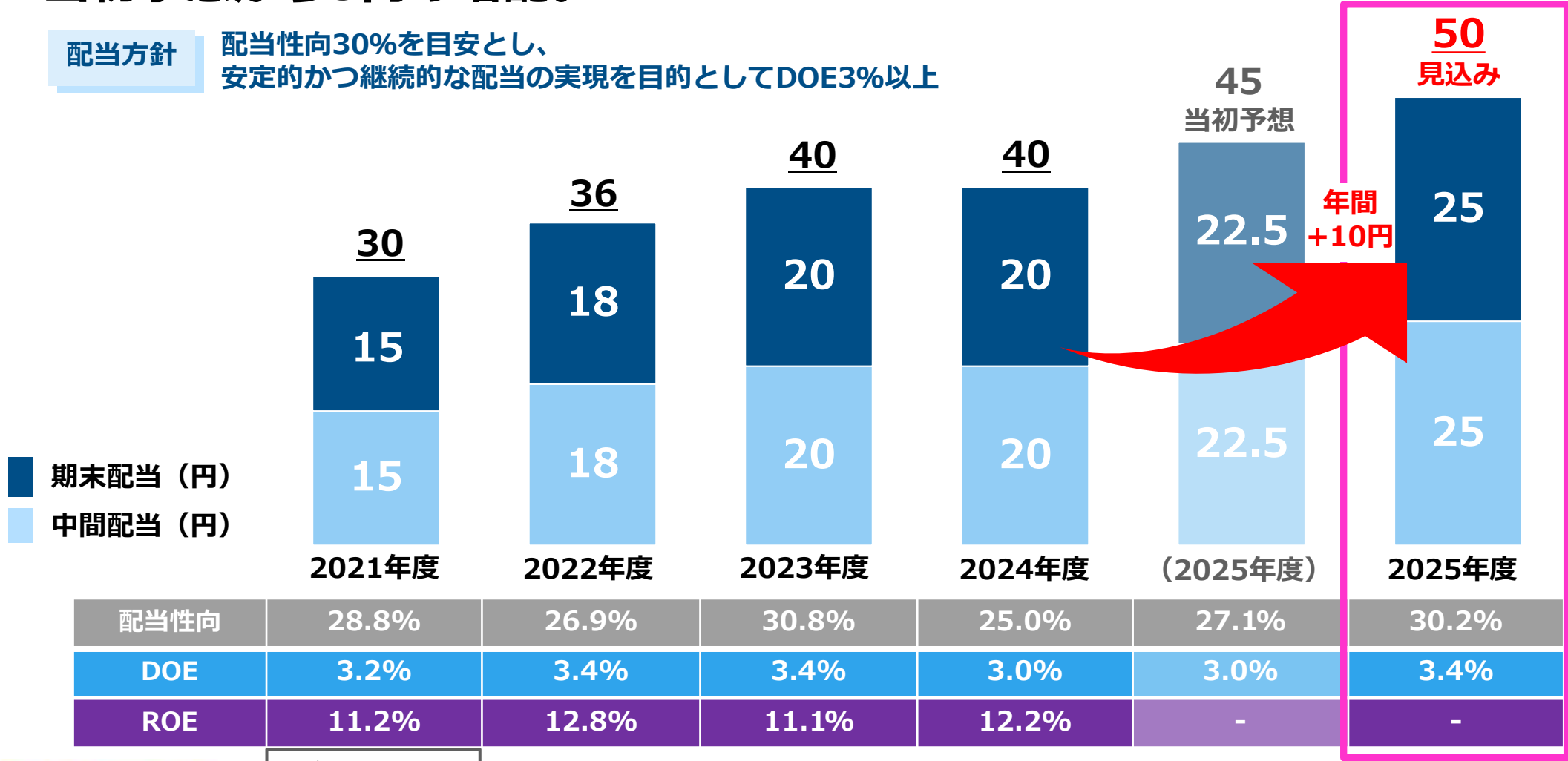
■ 為替感応度 (2025年度予想、1円変動による影響額)

	売上高	営業利益
USD1円相当	約200百万円	約70百万円

株主還元

年間配当額を、前年度実績から10円増配の50円に引き上げ。
当初予想から5円の増配。

配当方針 配当性向30%を目安とし、
安定的かつ継続的な配当の実現を目的としてDOE3%以上



自己株式取得
10億円(63万株)



会社概要

会社概要

会社名	オプテックスグループ株式会社
所在地	滋賀県大津市
創立日	1979年5月25日
資本金	2,798百万円
売上高	63,269百万円
営業利益	7,121百万円
決算月	12月
証券コード	東京証券取引所 プライム上場 6914
連結従業員数	2,148名 (派遣・パート・アルバイト除く)

数値：2024年12月末時点



オプテックスグループは
センサーの総合メーカーです。

「見えないものを、見るしごと。」

【会社名の由来】

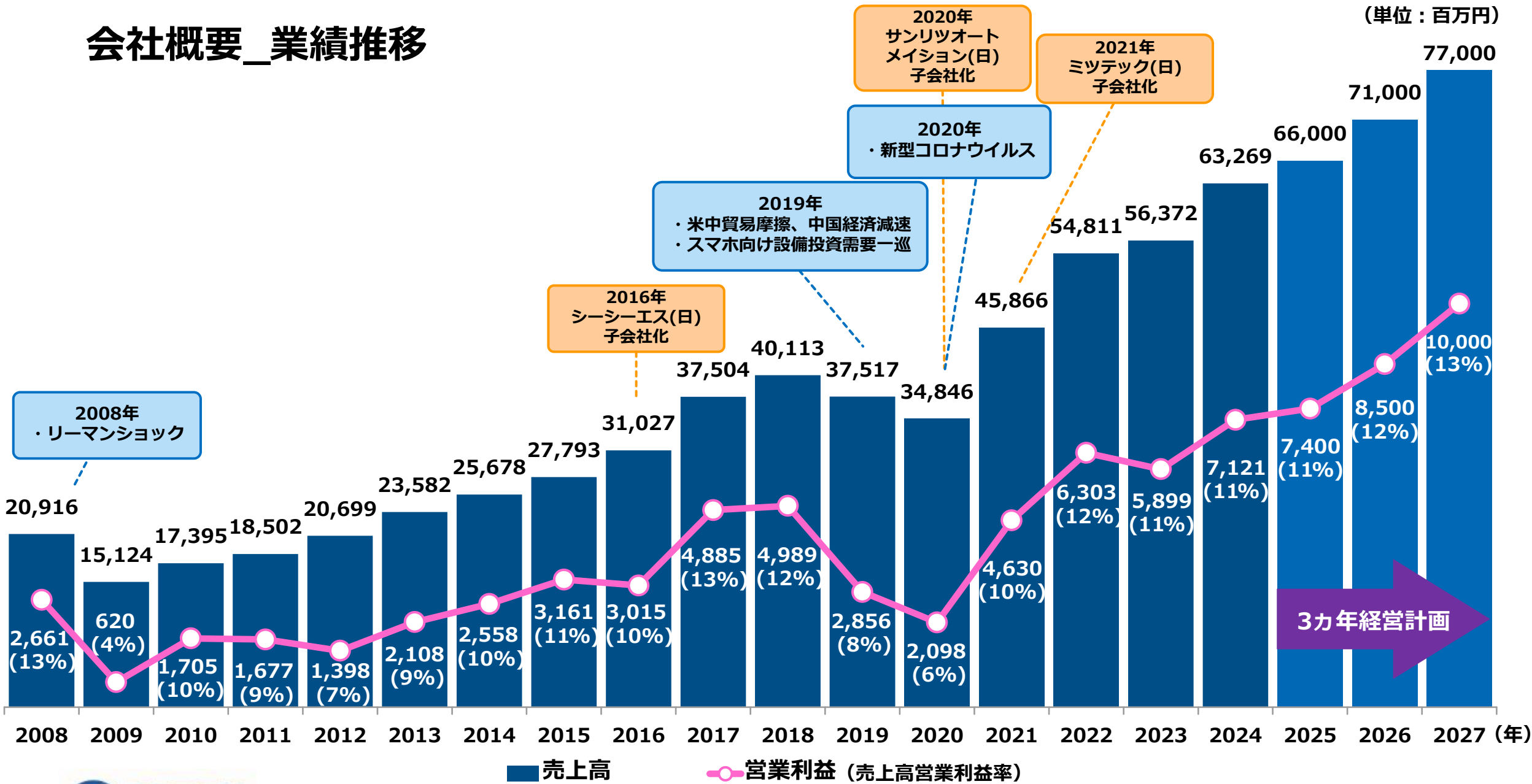
オプテックスグループ
OPTEX

Optical TEchnology
光学技術

未知、未来を表す
X (エックス=ギリシャ語)

会社概要_業績推移

(単位：百万円)



会社概要_沿革

1979	・ 創立
1980	・ 世界初、赤外線利用の自動ドア用センサーを開発
1985	・ 米国カリフォルニアに子会社を設立
1991	・ 店頭公開（旧JASDAQに相当）
1996	・ 屋外防犯用センサーを開発
2001	・ 東証二部上場
2002	・ オプテックス・エフエー株式会社を設立
2003	・ 東証一部上場
2005	・ 中国に自社工場を設立 ・ オプテックス・エフエー株式会社上場
2016	・ シーシーエス株式会社を子会社化（63.5%の株式を取得）
2017	・ オプテックス・エフエー株式会社を完全子会社化 ・ オプテックスグループ株式会社を持株会社とする新体制に移行
2020	・ サンリツオートメーション株式会社を子会社化
2021	・ ミツテック株式会社を子会社化



創立当時



自動ドア用センサー1号機



屋外防犯用センサー



オプテックス・エフエーが開発した工場用センサー



中国の自社工場（広東省東莞市）



シーシーエスの画像処理用LED照明

会社概要_体制図

オプテックスグループ 株式会社

(東証プライム上場 証券コード：6914)

持株会社

オプテックス株式会社

防犯用・自動ドア用等各種センサーの開発・製造・販売

SS事業

オプテックス・エフエー株式会社

ファクトリーオートメーション用センサーの開発・製造・販売

IA事業

シーシーエス株式会社

画像検査用LED照明の開発・製造・販売

IA事業

サンリツオートメーション株式会社

産業用コンピュータの開発・製造・販売

IA事業

ミツテック株式会社

自動化装置および画像処理検査装置の開発・製造・販売

IA事業

オプテックス・エムエフジー株式会社

グループ製品の製造・電子機器の受託生産

EMS事業

オーパルオプテックス株式会社

アウトドアアクティビティおよび環境体験学習の運営

その他事業

会社概要_事業売上構成比

IA（インダストリアルオートメーション）事業

自動化装置関連

自動車向けの二次電池製造装置を提供

産業用PC関連

半導体製造装置向けの組込ボードや
空港向けの追尾カメラを提供

検査用照明関連

工場の検査工程で検査の品質向上に
役立つ照明を提供

FA関連

工場の生産工程で自動化・省人化に
役立つセンサーを提供



EMS/その他

2%

SS（センシングソリューション）事業

防犯関連

住宅、事業所、大型重要施設向けの
侵入検知センサーを提供



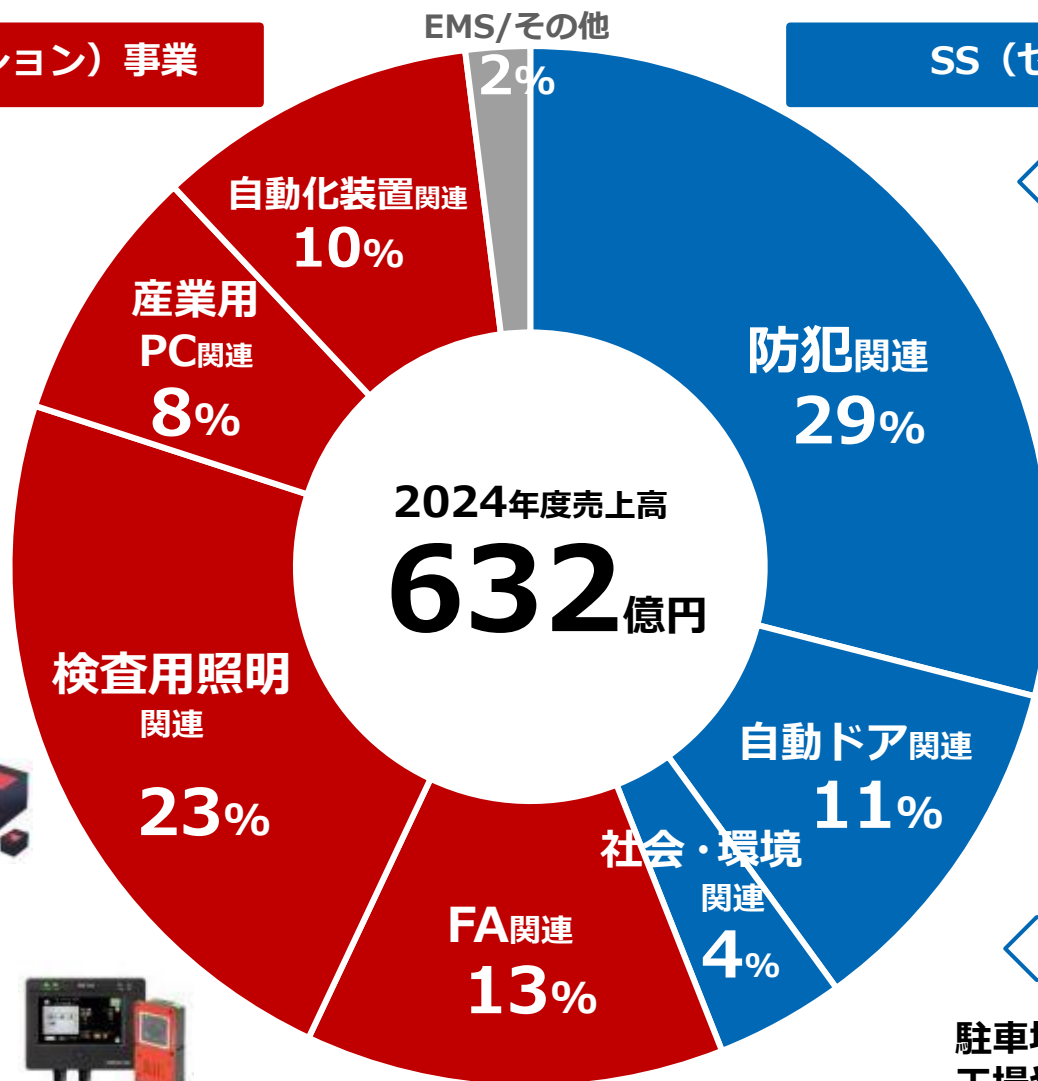
自動ドア関連

自動ドア用センサー、工場や倉庫の
シャッター用センサーを提供

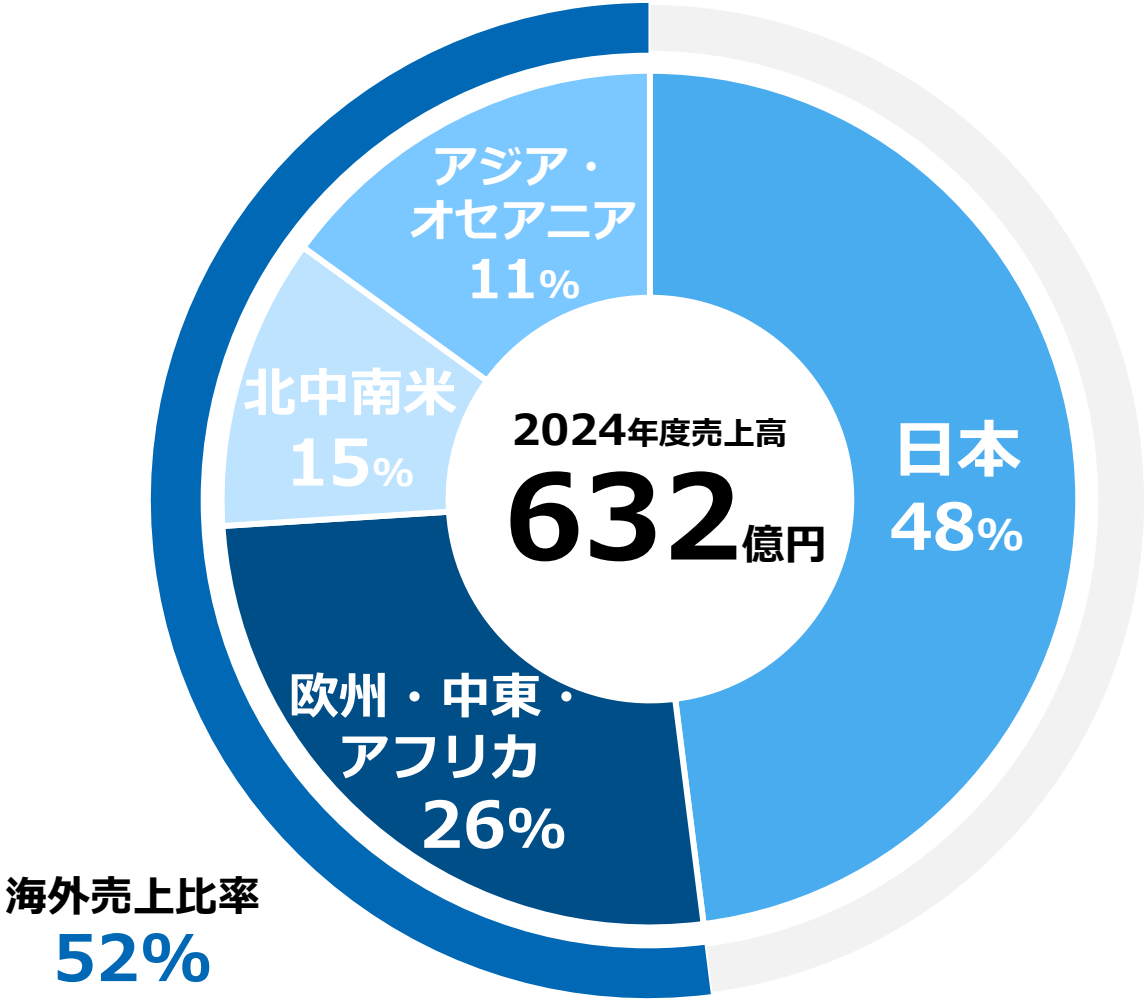


社会・環境関連

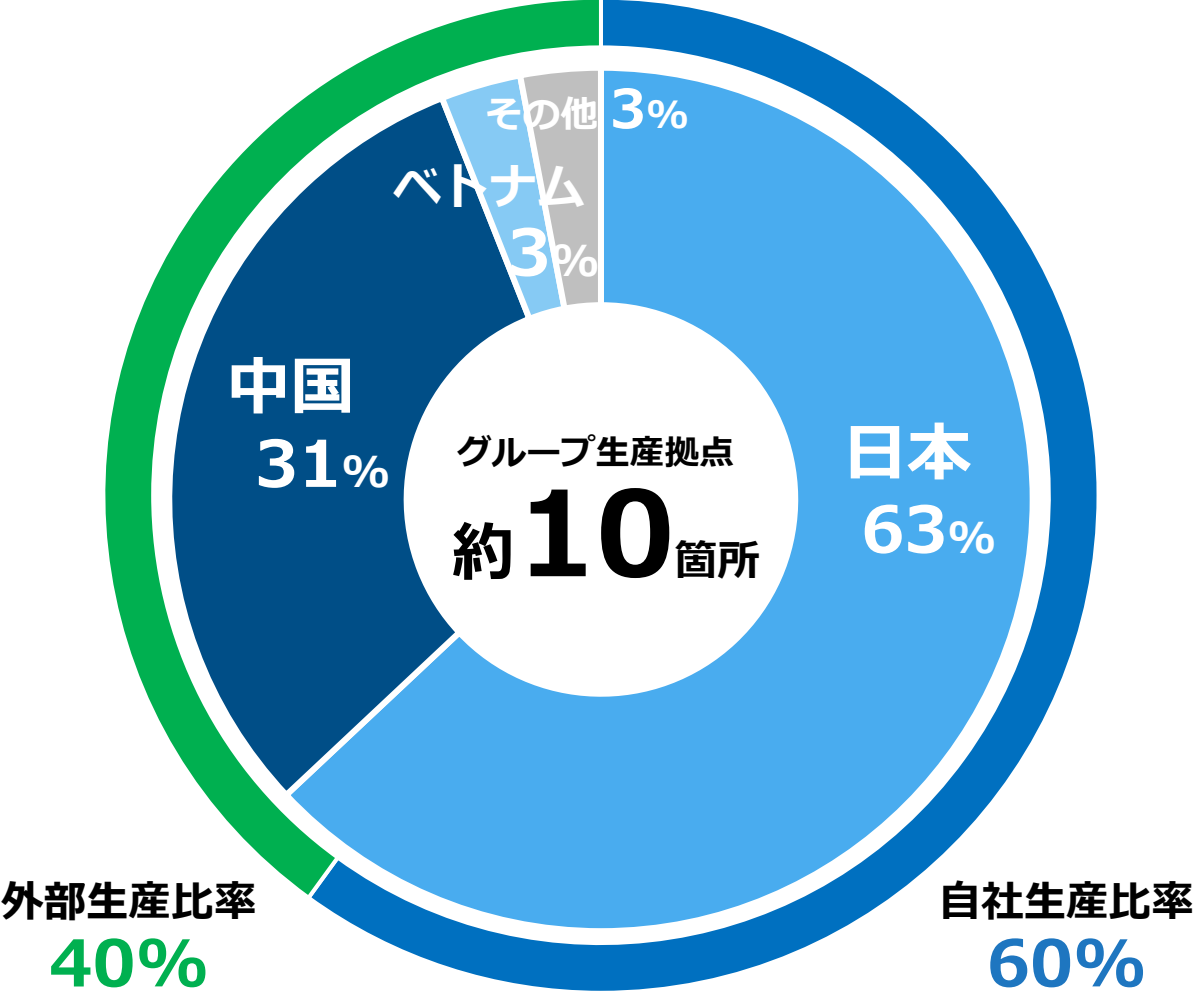
駐車場向けの車両検知センサーや
工場や浄水場向けの
水質計測センサーを提供



会社概要_地域別売上構成比、生産拠点別構成比



地域別売上構成比



生産拠点地域別構成比

会社概要_マーケットシェア

「グローバルニッチNo.1」

防犯

グローバルシェア

40%

屋外用侵入検知センサー



大型重要施設向け
レーザースキャンセンサー



カメラ付きセンサー

自動ドア

グローバルシェア

30%

自動ドア用センサー



赤外線センサー



シャッター用センサー



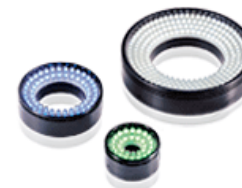
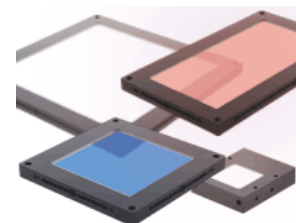
タッチスイッチ

検査用照明

グローバルシェア

30%

画像検査用LED照明



各種LED照明

事業概要_SS事業（防犯関連）

屋外用侵入検知センサーで世界トップシェア



レジデンシャル（住宅）向け



高級住宅（海外）

コマーシャル（事業所・倉庫等）向け



事業所



倉庫

ハイセキュリティ（大型重要施設）向け



発電所・石油インフラ施設



データセンター

事業概要_SS事業（自動ドア関連）

国内シェア50%以上、海外シェア20%

1980年 世界初 遠赤外線式自動ドアセンサーを開発

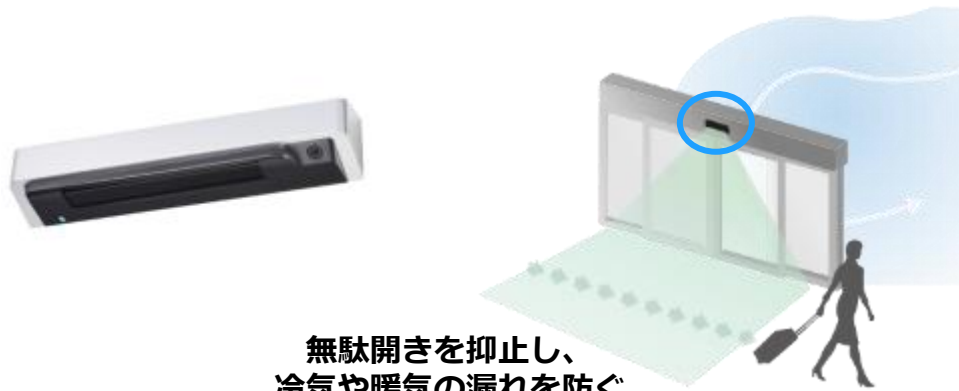


マットスイッチ（床）



自動ドア用センサー1号機

空調エネルギーロスを減らし、CO2削減に貢献



無駄開きを抑止し、
冷気や暖気の漏れを防ぐ

ショッピングセンター



コンビニ向けシェア60%以上



病院



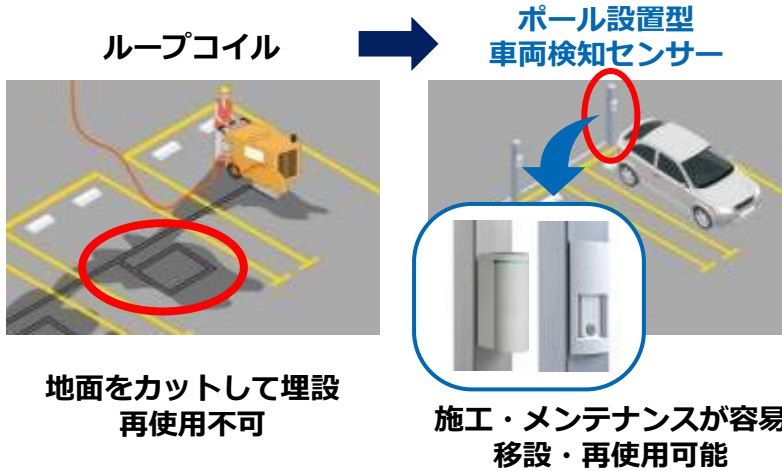
工場、倉庫用シャッター



事業概要_SS事業（社会・環境関連）

車両検知センサー：環境負荷の少ない車両検知センサーで、駐車場や交通インフラの快適性を実現

【在車管理】 埋設工事が不要に。



【ゲート開閉】

住宅、事業所等向け ゲート自動開閉用途



水質計測センサー：水質測定からデータ管理まで自動化し、水質監視と予防保全の効率化を実現



事業概要_IA事業（FA関連）

工場の生産工程で自動化、省人化に役立つセンサーを提供

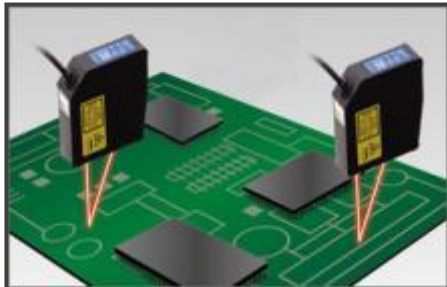
変位センサー



半導体、電気・電子部品業界向け



スマートフォンのフレームの高さ測定



基板の傾き、ソリ測定

画像センサー



三品業界向け（食品、医薬品、化粧品）



弁当・惣菜の食品表示ラベル検査

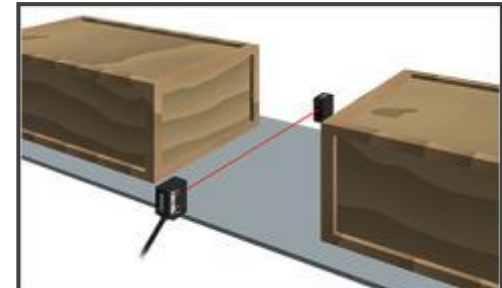


牛乳の賞味期限印字検査

光電センサー



物流業界向け



段ボールや木箱の通過検出



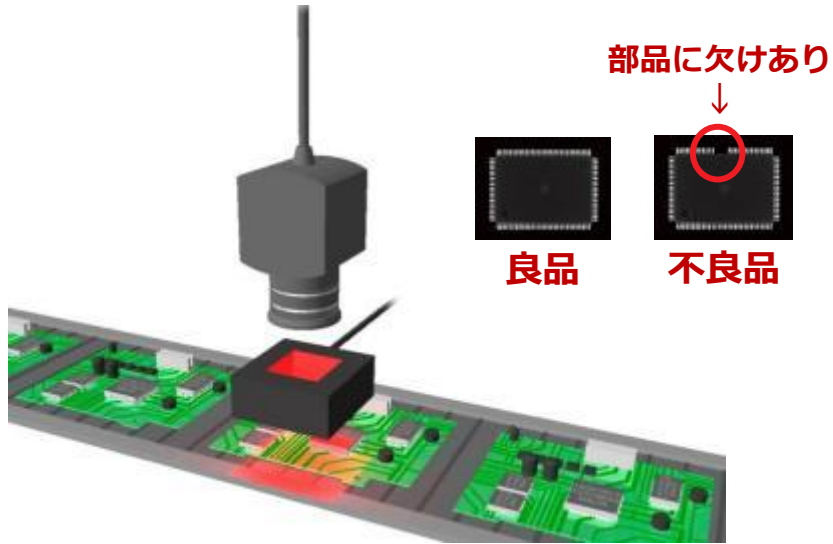
自動倉庫ではみ出し検出

事業概要_IA事業（検査用照明関連）

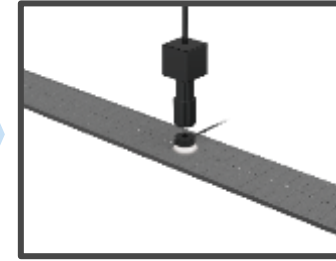
CCS は1993年設立の、LEDを活用した検査用照明メーカー

検査用照明とは？

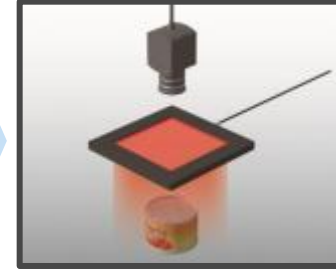
工場で何かを生産する場合は、各工程ごとに必ず「検査」のプロセスがあり、検査対象物を照明・電源、レンズ・カメラを使って撮像し、画像を基に「良品 or 不良品」の判定を行います。



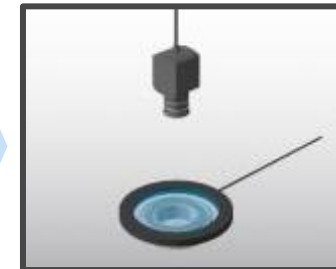
プリント基板の実装部品欠陥検査



小型チップ部品の文字・形状観察撮像



缶詰表面の汚れ撮像



ベアリングの刻印文字撮像

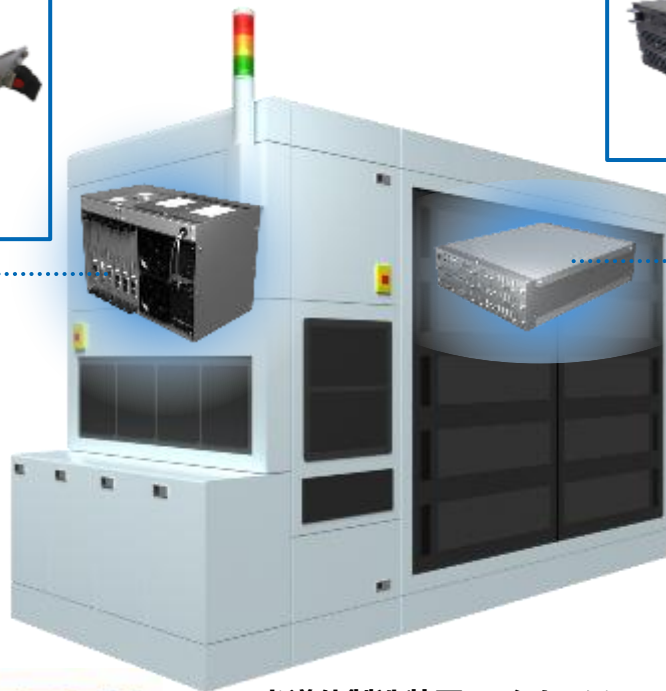
事業概要_IA事業（産業用PC関連）

耐環境性、耐ノイズなどの信頼性の高い製品を提供

ハードウェア・ソフトウェアの豊富な開発ノウハウによる長期的な技術サポートが強み

産業用組み込みボード

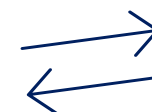
半導体製造装置や医療・通信などの生産性向上に
貢献するコンピュータ・プラットフォームを提供



半導体製造装置のイメージ

生産・社会インフラシステム

自動追尾用カメラ等のシステムを提供し、
空港等、社会インフラの課題解決に貢献



主要空港から遠隔で監視



地方空港のイメージ

事業概要_IA事業（自動化装置関連）

自動化装置

高度なメカトロ技術を保有

- ✓ 高速・高精度充填技術
- ✓ 高速搬送技術 等



二次電池製造装置等の自動化装置の開発

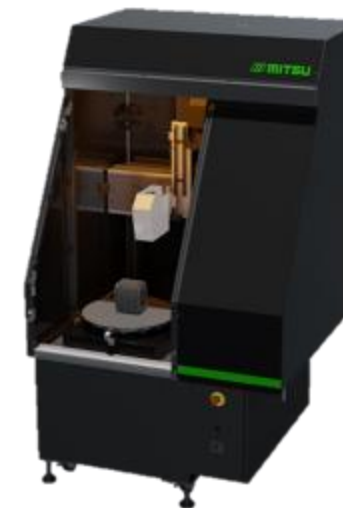
画像処理検査／計測装置

モノを動かす
「Motion技術」

×

モノを視る
「Vision技術」

お客様の課題に合わせてカメラ、LED照明、各種測定機等を組み合わせた画像処理検査システムを構築



ESGの取り組み

当社はサステナビリティ基本方針の元、ESG課題に積極的に対応し企業価値の向上に努めています。ESGレポートを作成しておりますのでぜひご覧ください（[レポートはこちら](#)）。



Environment (環境)

環境課題への取り組み

【TCFD提言への賛同】

「2030年までに2019年度比CO2排出量を30%以上削減する」という中長期目標を設定し、気候変動対応プロジェクトを中心にTCFDの枠組みに沿った対応を推進

【製品・ソリューションでCO2削減に貢献】

環境配慮型の製品・ソリューションの普及拡大に取り組む

自動ドアセンサー



無駄な開閉を防止することにより空調効率を改善

画像検査用LED照明



明るさを自動管理するフィードバック制御により省エネを実現



Social (社会)

社会課題への取り組み

「自己実現No.1」の会社を目指し、社員の成長のサポートや能力発揮のための人材育成と職場環境の整備を推進。



健康意識の向上や生活習慣の改善、メンタルヘルス対策の強化の取り組みにより、優良な健康経営に取り組む企業として、オプテックス株、オプテックス・エフエー株の2社が「健康経営優良法人」に認定。



Governance (ガバナンス)

企業統治への取り組み

当社の取締役会は、企業経営・経営管理、技術開発、生産、営業販売、海外での勤務経験、会計の専門性等をそれぞれ有効に活用する取締役5名（男性4名、女性1名）と、豊富な監査経験、税理士、公認会計士、弁護士の資格を有する等、高い見識と知見を有する監査等委員である取締役3名（男性2名、女性1名）で構成されています。

(2025年3月28日現在)



取締役会での活発な議論を通じた意思決定で戦略の質を高め、更なる企業価値の向上を実現。

